

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2020年1月分)

2020年2月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[BH議会下院, 新人権・難民相の承認に遅れ\(16日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[サラエボ・カントン政権に対する不信任決議案の可決\(29日\)](#)

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[「RSの日」の祝賀行事の催行\(9日\)](#)

●[ブチッチ・セルビア大統領のBH訪問\(29日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[BH議会上下両院議長, ヴァールヘイ欧州委員会近隣政策・拡大担当委員と会談\(27日\)](#)

(2) 二国間関係

(3) 日・BH関係

●[坂本大使のズビズディッチBH議会下院議長との会談\(24日\)](#)

●[坂本大使のグデリエビッチ民生大臣との会談\(28日\)](#)

●[坂本大使のミトロビッチ運輸・通信大臣との会談\(29日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(BH統計庁) [↓](#)

(2) 経済政策・公共事業

●[2020年のBHの経済成長率, 3.4%のプラス成長と予測\(世銀\)\(10日\)](#)

●[EU, IPA\(2018\)に基づく対BH支援プロジェクトの契約締結を開始\(16日\)](#)

(注: 本月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●BH議会下院、新人権・難民相の承認に遅れ(16日)

昨年12月に発足した閣僚評議会(中央政府)の閣僚人事につき、現在空席となっている人権・難民相に対するBH議会下院の承認に更なる遅れが発生。16日、新大臣候補(セルビア系与党第2党の民主人民同盟(DNS)が推薦)に対するBH議会下院の承認採決の実施が予定されていたが、ボシュニャク系与党SDAからの同採決実施の延期要請を受け、連立与党はこれに同意。新大臣の就任時期に関する不透明感が強まっている。

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●サラエボ・カントン政権に対する不信任決議案の可決(29日)

サラエボ・カントン(注: 県に相当)議会において、SDA、「よりよき未来のための同盟」(SBB)、民主主義戦線(DF)などの野党連合(議会多数派)が現政権(「人民と正義」(NiP)および「我々の党」(NS)など4党連立)に対する不信任決議案を提出し、賛成多数によりこれを可決。同決議を受け、フォルト首相(NS所属)率いる現政権は近日中にも議会に対し辞表を提出し、これに続き議会多数派のSDA・SBB・DF連合が新政権の閣僚人事に着手する見通し。

●SBBから2議員が離党(13, 20日)

サラエボ・カントン議会におけるSDAとの連立合意をめぐり、SBBから2議員が離党。このうちドゥラコビッチ同カントン議会議員は、13日、NiP主導の現政権に対する不信任決議

案提出の党方針に反対しSBBを離党。またアルナウトBH議会下院議員(同党副党首)は、離党したドゥラコビッチ議員を党規約違反で提訴するとして同党の方針に抗議し、20日、ドゥラコビッチ議員に続きSBBを離党する旨発表した。

イ. スルプスカ共和国(RS)

●「RSの日」の祝賀行事の催行(9日)

RSの中心都市バニャ・ルカにおいて、ドディック大統領評議会セルビア系メンバーおよびブルナビッチ・セルビア首相ら出席のもと「RSの日」の祝賀行事が催行。「RSの日」については、RSの前身である「BHセルビア人共和国」が1992年1月9日にBH共和国(当時)から独立を宣言したことから、現在同エンティティ法で祝日と定められている。一方で、BH憲法裁判所は同法を違憲とする判断をこれまで再三にわたり示しており、国内外からは同法の改廃を求める声が高まっている。

●ドディック大統領評議会メンバー、ブチッチ・セルビア大統領と会談(17日)

ドディック大統領評議会メンバーが、セルビア・ベオグラードにおいて同国のブチッチ大統領と会談。ブチッチ大統領は、先般、ミラノビッチ次期クロアチア大統領とエルドアン・トルコ大統領が Dayton 和平合意改正の可能性につき協議したと一部で報じられたことを念頭に(本月報外政欄に後述)、セルビア及びBHセルビア系を抜きに Dayton 合意の改正を協議することは看過できないと述べ、両大統領の動きを牽制した。

●ブチッチ・セルビア大統領のBH訪問(29日)

ブチッチ・セルビア大統領がBHのドゥルバ

ル市(カントン10, BH連邦)およびムルコニッチ・グラード市(スルプスカ共和国)を訪問。同大統領は、最近開設されたセルビア企業の繊維製品工場を訪れたほか、ムルコニッチ・グラード市ではドディック大統領評議会メンバーとともに多数のセルビア系住民の前で演説を行い、BHおよびセルビア両国のセルビア系民族の団結を訴えた。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●クロアチア・トルコの両国大統領、デイトン和平合意の改正につき協議か(16日)

当地の一部報道によれば、ミラノビッチ次期クロアチア大統領およびエルドアン・トルコ大統領が、デイトン和平合意改正の可能性につき電話協議を実施。これに対しドディックBH大統領評議会メンバーは、「デイトン合意の改正はBHに対する死刑判決になるだろう」と述べ強く非難。17日、ミラノビッチ次期大統領は同会談に関する報道内容を否定するとともに、デイトン和平合意の改正は困難であるとの見方を示した。

●BH議会上下両院議長、ヴァールヘイ欧州委員会近隣政策・拡大担当委員と会談(27日)

ズビズディッチBH議会下院議長(ボシュニャク系与党SDA所属)およびチョービッチBH議会上院議長(クロアチア系与党HDZ党首)がブリュッセルを訪問し、ヴァールヘイ欧州委員会近隣政策・拡大担当委員との間で会談を実施。両議長が西バルカンへのEU拡大プロセス加速化を要請したのに対し、ヴァールヘイ委員は、本年5月にザグレブ(クロアチア)で開催予定のEU・西バルカン諸国首脳会合に

おいて、同問題は重要議題になるとの見通しを示した。

(2) 二国間関係

●チョービッチBH議会上院議長、フランシスコ・ローマ教皇と会談(22日)

チョービッチBH議会上院議長はバチカンにおいてフランシスコ・ローマ教皇と会談を行い、BH国内クロアチア系の政治的権利の平等実現に向けた取組に対するバチカンの支持を要請。また、両者はBHがバチカンとの間で結んだBHの政教分離などに関する基本文書(2006年)の履行状況につき話し合った。

●コムシッチ大統領評議会議長のイスラエル訪問(23日)

コムシッチ大統領評議会議長(元首、クロアチア系)はエルサレム(イスラエル)を訪問し、同地で開催された第5回「世界ホロコースト・フォーラム(The 5th World Holocaust Forum)」に出席した。

(3) 日・BH関係

●坂本大使のズビズディッチBH議会下院議長との会談(24日)

坂本大使はズビズディッチBH議会下院議長との間で会談を行い、様々な分野における二国間関係の強化につき話し合った。坂本大使が両国議会間交流の促進及び民間セクターにおける協力の深化に対する期待を述べたのに対し、ズビズディッチ議長は、BH紛争終結から約25年にわたる日本の支援に対する謝意に加え、日本からの対BH投資の更なる拡大への期待を述べた。



(写真: 坂本大使とズビズディッチBH議会下院議長)

●坂本大使のグデリエビッチ民生大臣との会談(28日)

坂本大使は、グデリエビッチ民生大臣を訪問し、様々な分野における二国間関係の促進について話し合った。坂本大使が医療及び教育分野における協力の発展に対する期待を述べたのに対し、グデリエビッチ民生大臣は、BH紛争終結後の長年にわたる日本の支援に対する謝意に加え、教育やスポーツ、および若者の育成に関する協力拡大への期待を述べた。



(写真: 坂本大使とグデリエビッチ民生大臣)

●坂本大使のミトロビッチ運輸・通信大臣との会談(29日)

坂本大使はミトロビッチ運輸・通信大臣を訪問し、様々な分野における二国間関係の促進について話し合った。坂本大使が日本政府の重視する「コネクティビティ(連結性)」をめぐる協力強化への期待を述べたのに対し、ミトロビッチ大臣は、運輸・通信分野における昨今のBHIに対する日本の支援に対する謝意に加え、特に通信分野のIT化や鉄道の発展に関する協力拡大への期待を述べた。



(写真: 坂本大使とミトロビッチ運輸・通信大臣)

3. 経済

(1)経済指標(BH統計庁)

●GDP成長率

2019年第3四半期(7～9月)のGDP成長率は、前年同期比で2.6%のプラス成長。

●産業生産指数

2019年12月の産業生産指数は、季節調整後の数値で前月比1.8%のマイナス、前年同月比では5.1%のマイナス。

●貿易収支

2019年の輸出総額は、前年(18年)比で3.4%マイナスの114億9,200万KM(約58億7,577万ユーロ)、輸入額は前年比で1.

2%プラスの194億9,800万KM(約99億6,916万ユーロ)。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は80億600万KM(約41億2,100万ユーロ)の赤字。輸出・輸入額の上位5か国は以下のとおり。

BHからの輸出	BHへの輸入
① セルビア	① イタリア
② ドイツ	② セルビア
③ クロアチア	③ ドイツ
④ イタリア	④ クロアチア
⑤ スロベニア	⑤ 中国

●雇用／失業率

2019年11月の失業者数は40万1,359人。2017年の同月を基準値(100)とする前年同月(2018年11月)比で7.1%,実数にして3万3,999人の減少で改善傾向。

●平均給与

2019年11月の平均給与(手取り)は928KM(約474.5ユーロ)で、前年同月比で3.2%のプラス。

●消費者物価指数

2019年12月の消費者物価指数は前月比で0.1%のマイナス。

●観光客数

2019年12月にBHを訪れた観光客数は9万6,265人で、前年同月比で10.8%のプラス。

(2)経済政策・公共事業

●2020年のBHの経済成長率、3.4%のプラス成長と予測(世銀)(10日)

世界銀行は、2020年のBHの経済成長率が3.4%のプラス成長になるとの予測値を発表。この予測値は、世銀が昨年6月に発表した20年経済成長率予測(プラス3.9%)から0.5%の下方修正。今回の世銀予測値に基づく20年経済成長率の前年(19年、プラス3.1%)からの上げ幅は、プラス0.3%となる見通し。

●サラエボ、大気汚染が深刻化(9日)

スイスに本部がある大気汚染測定機関 Air Visual によれば、サラエボ市内で大気汚染の程度を示す空気質指数(Air Quality Index, 数値が大きいくほど大気汚染が深刻。)が464となり、全世界でのワーストを記録。BHでは近年、サラエボをはじめとする都市部において冬期の大気汚染が深刻化している。

●EU、IPA(2018)に基づく対BH支援プロジェクトの契約締結を開始(16日)

EUは、BHへのEU加盟前支援(IPA: Instrument for Pre-Accession Assistance)(2018年)プログラムに対するBH大統領評議会の署名手続きが昨(19)年末に完了したことを受け、同プログラムに基づき農業、エネルギー、司法改革などの各分野における対BH支援プロジェクトの契約締結を開始。EUは、IPA2018を通じ、BHに対して7,100万ユーロ規模の支援を実施予定。